2022 年度　物理系薬学部会総会

日時：2022 年 3 月 26 日（土）12:00～13:00
場所：オンライン（Zoom）開催

議題

報告事項

1. 2021 年度活動報告

(1) 総会

日時：2021 年 3 月 26 日(金)　10：30～11：40
場所：オンライン（Zoom ウェビナー）
出席者　157 名、委任状　68 名

(2) 奨励賞の授与

静岡県立大学　　杉山 栄二 氏
自然科学研究機構 分子科学研究所　　谷中 冴子 氏

(3) コア・カリキュラム改訂に向けての意見交換会

日時：2021 年 4 月 21 日（水）17:00～18:00
場所：オンライン（Zoom）

(4) お知らせメールの発信

物理系薬学部会のお知らせ　9 回/年

(5) 学術集会の開催（部会主催）

1. 第 7 回物理系薬学部会シンポジウム
「新進気鋭の研究者による物理系薬学分野の最先端研究」
2021 年 3 月 27 日（土）13:15～15:15　オンラインにて開催
オーガナイザー　小池 透（広島大院医系科学）、船津 高志（東大院薬）

2. 第 30 回金属の関与する生体関連反応シンポジウム（SRM2021）
2021 年 6 月 18・19 日　オンラインにて実施
実行委員長　高妻 孝光（茨城大学大学院理工研究科）

3. 第 33 回バイオメディカル分析科学シンポジウム（BMAS2021）
2021 年 9 月 1・2 日　京都大学桂キャンパス船井哲良記念講堂とオンラインのハイブリッド開催
実行委員長　鈴木 茂生（近畿大学薬学部薬品分析学教室）

4. 第 18 回次世代を担う若手のためのフィジカル・ファーマフォーラム（PPF2020/2021）
2021 年 9 月 14・15 日　オンラインにて実施
実行委員長　前川 正充（東北大学病院薬剤部）。

5. 第 42 回生体膜と薬物の相互作用シンポジウム
2021 年 10 月 28・29 日　オンラインにて実施
実行委員長　二木 史朗（京都大学化学研究所）。

2. 2021 年度決算報告(詳細は別紙参照)

単位：円

事業名	交付金	事業収入	収入(合計)	支出(合計)
第 30 回金属の関与する生体関連反応シンポジウム（SRM2021）	200,000	121,001	321,001	139,598
第 33 回バイオメディカル分析科学シンポジウム（BMAS2021）	200,000	1,427,221	1,627,221	1,330,991
第 18 回次世代を担う若手のためのフィジカル・ファーマフォーラム（PPF2019/2021）	500,000	204,002	704,002	534,608
第 42 回生体膜と薬物の相互作用シンポジウム	200,000	524,000	724,000	716,630
物理系薬学部会	400,000	2	400,002	141,528
合計	1,500,000	2,276,226	3,776,226	2,863,355

審議事項

1. 2022 年度役員(所属)(担当職務)

部会長　船津 高志（東大院薬）（会計担当）
副部会長　加藤 博章（京大院薬）（研究担当（委員長）、賞選考委員長）
庶務幹事　安井 裕之（京都薬大）（広報担当）
地区選出世話人（賞選考委員）
北海道・東北
　北浦 廣剛（北海道医療大薬）（研究担当）
関東
　大戸 梅治（東大院薬・新）（研究担当）
　加藤 大（昭和大薬・新）（教育担当）
　大澤 匡範（慶應大薬・新、任期一年）（研究担当）
北陸・東海
　山本 浩充（愛知学院大薬・新）（教育担当）
近畿

岩尾 康範（和歌山県立医大薬・新）（研究担当）
黒田 幸弘（武庫川女子大薬）（教育担当（委員長））
中国・四国
小池 透（広島大院医）（教育担当）
九州
市川 和洋（長崎国際大薬・新）（教育担当）
分野調整枠世話人（放射系）
上原 知也（千葉大薬）（研究担当）
拡大世話人 （各シンポジウム実行委員長、シンポジウム担当）
四宮 一総（日本大薬）、長瀬 健一（慶應大薬）
原島 秀吉（北大院薬）、人見 穣（同志社大理工）
若手世話人（フィジカル・ファーマフォーラム担当）
小川 数馬（金沢大新学術）、岸川 直哉（長崎大院医歯薬）、東海林 敦（東京薬科大薬）、辻野 博文（阪大院薬）、長瀬 健一（慶應大薬）、巴山 忠（福岡大薬）、菱木 麻美（静岡県立大薬）、前川 正充（東北大病薬）、渡邊 裕之（京大院薬）

2. 2022 年度 活動予定

1．総会（オンライン）
2．奨励賞の授与、2023 年度奨励賞の選考
3．メールマガジンの発行
4．学術集会の開催
5．委員会活動
研究委員会
・物理系薬学研究の活性化
教育委員会
・物理系薬学教育の充実
・薬学教育モデル・コアカリキュラムの改訂に向けて

3. 2022 年度奨励賞

鈴木 博元 氏（千葉大学大学院薬学研究院）
「放射性薬剤の非特異的な正常組織への集積低減とラジオセラノスティクスへの展開」
山﨑 俊栄 氏（神戸薬科大学 薬学部）
「ラジカル化合物の反応性制御と生体計測プローブ・治療化合物への展開」

4. 2022 年度学術集会

4-1 部会主催

1) 第 8 回物理系薬学部会シンポジウム
「若い力で推進する物理系薬学」
2022 年 3 月 26 日 日本薬学会第 142 年会オンライン開催

オーガナイザー　小田 彰史（名城大薬）、加藤 博章（京大院薬）

2) 第 31 回金属の関与する生体関連反応シンポジウム（SRM2022）

2022 年 6 月 18・19 日 同志社大学京田辺キャンパス

実行委員長　人見 穣（同志社大学大学院理工学研究科）

3) 第 34 回バイオメディカル分析科学シンポジウム（BMAS2022）

2022 年 9 月 2・3 日（開催場所の学事日程によって変更の可能性あり）　日本大学薬学部

実行委員長　四宮 一総（日本大学薬学部）

4) 第 19 回次世代を担う若手のためのフィジカル・ファーマフォーラム（PPF2022）

2022 年 9 月 12・13 日 マホロバ・マインズ三浦（神奈川県三浦市）

実行委員長　長瀬 健一（慶應義塾大学薬学部）

5) 第 43 回生体膜と薬物の相互作用シンポジウム

2022 年 10 月 6・7 日 北海道大学キャンパス

実行委員長　原島 秀吉（北海道大学大学院薬学研究院）

4-2 部会協賛

第 39 回メディシナルケミストリーシンポジウム（医薬化学部会関連の学術集会）

2022 年 11 月 23 日～25 日　東京大学安田講堂、もしくは　オンライン開催

実行委員長：青木　一真（第一三共株式会社）

5. 2022 年度予算（詳細は別紙参照）

単位：円

事業名	交付金	事業収入	収入(合計)	支出(合計)
第 31 回金属の関与する生体関連反応シンポジウム（SRM2022）	200,000	656,000	856,000	856,000
第 34 回バイオメディカル分析科学シンポジウム（BMAS2022）	200,000	1,765,000	1,965,000	1,965,000
第 19 回次世代を担う若手のためのフィジカル・ファーマフォーラム（PPF2022）	500,000	680,000	1,180,000	1,180,000
第 43 回生体膜と薬物の相互作用シンポジウム	200,000	1,010,000	1,210,000	1,210,000
物理系薬学部会	400,000	0	400,000	400,000
合計	1,500,000	4,111,000	5,611,000	5,611,000

6. 令和 7・8 年度部会長の選出

規約により、分析化学から選挙で選出。

7. その他

日本薬学会第 143 年会（北海道）